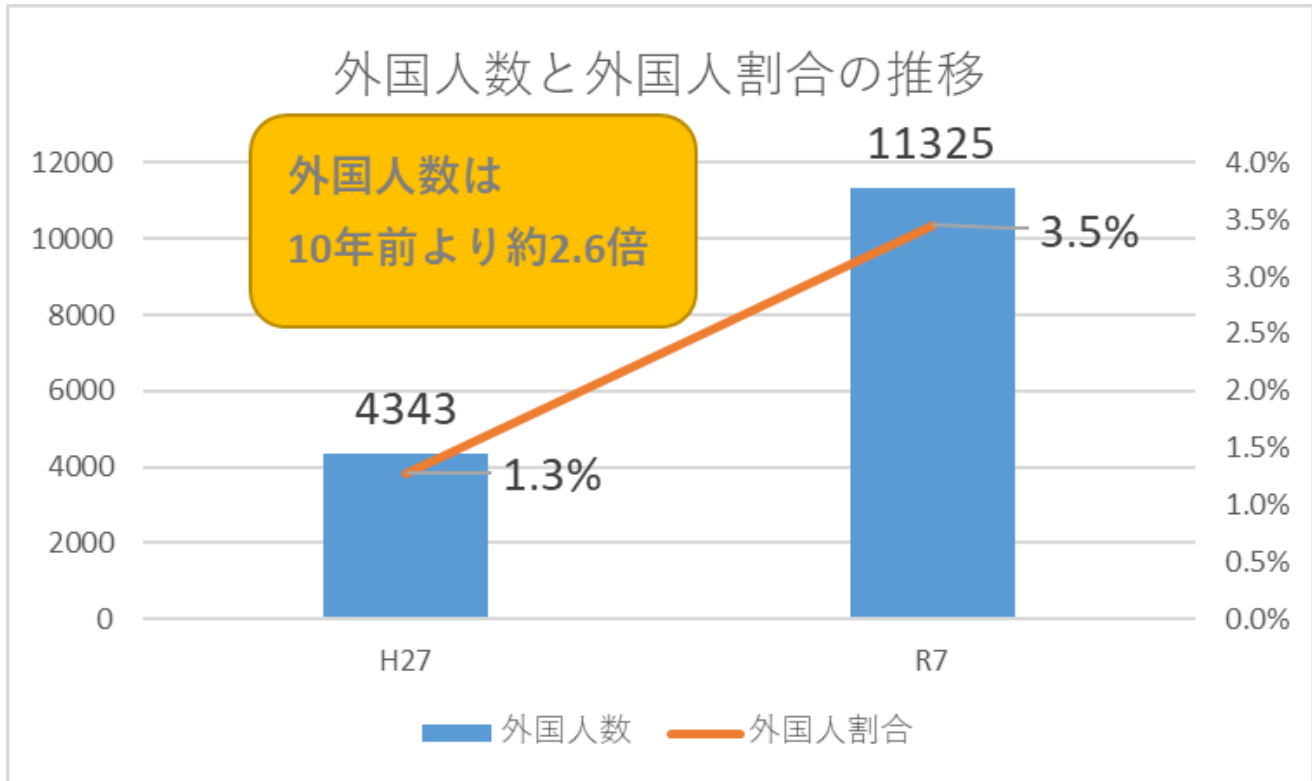


外国人への成人歯科健診啓発活動

1 実施の背景



(参考；前橋市の人口と世帯数を基に独自に作成)

前橋市における外国人住民は、この10年間で増加しています。平成27年には4,343人で全体の約1.3%でしたが、令和7年には11,325人となり、割合は約3.5%となっています。外国人住民は言語や文化の違いから、健康情報を十分に得られない場合があり、歯科健診を含む予防医療の利用が遅れることで、重症化や生活の質の低下につながる恐れがあります。このため、外国人への健康情報の発信は一層重要となっています。

健康増進課では、外国人が学ぶ専門学校で令和5年度より歯科健診の周知に取り組んでいます。専門学校で周知するにあたり、「簡単な日本語の使用」「簡単な英語の使用」「イラストを使った指導」「身振りや手振り」等工夫している点を、紹介します。

2 取組の内容

NIPPON おもてなし専門学校の授業の中で実施。日本語、社会、情報処理など、各専門講座の教室5分程度の時間をもらい、専門学校の先生と一っしょに1日10教室ほど訪ねていく。(6月17日と6月20日に実施)

- (1) 歯が生活の中で大事であることへの気づき(笑顔などの外見、他人が感じる口臭)
- (2) 日本での歯科受診経験聴取
- (3) 受診シールを見せながら歯科健診のPR(受け方、内容)
- (4) ブラッシング指導(生徒たちはペンを歯ブラシに見立てて実施)
- (5) 最後に生徒と一緒に「GOGO はいしゃさん！」で盛り上がり終了

使用言語；簡単な英語、日本語

使用物品；歯科健診周知やブラッシングに関する単語を英語とイラストで記載したスライド
(歯科健診；denrtal checkup,前歯；front teeth,奥歯；back teeth など)
歯の模型、大きな歯ブラシ

3 実施後の効果

- ・歯にトラブルがあり、受診に結びついた学生がいた。
- ・成人歯科健診を3名ほど受診。
- ・その年が受診対象年でない場合も、その後の年に健診受診をした生徒もいた。

4 使用物品と健診周知の様子



①簡単な英語とイラストを使って歯科健診のPR



②ブラッシング指導もイラストで



③顎模型とイラストを用いてブラッシング指導



④GOGO はいしゃさん

5 今後について

今後も周知を実施する中で、反応の良い英単語、伝わりやすい簡単なコミュニケーションの取り方等知識を重ね、事業を継続していく。